

豊田北小学校いじめ対策アクションプラン

～いじめのない学校づくりを目指して～

◎は重点的に取り組む項目

いじめのない学校づくりのための総点検と校内体制の構築

- ◎いじめに対する指導方針を明らかにし、全職員が一枚岩になって指導・対応する。
- チームで対応できる校内体制作りを進める。
- 「いじめチェックポイント」などの通知を活用し、総点検を定期的実施する。
- 小中一貫教育を進める中で、発達段階に応じた指導の在り方を検討する。
- 「豊田北小いじめゼロ宣言」により、いじめを許さない学校づくりを実施する。

いじめ問題に対する教師の意識の高揚と資質向上

- ◎いじめは「どの学校でもどの子にも起こりうる」という危機意識を教職員間で共有する。
- ◎教師が「小さなことにも気づく」力量を高める。
- ◎教職員の言動が児童に大きな影響を持っていることを全職員で確認する。

いじめを許さない、居がいのある学級づくり

- ◎担任が「この学級ではいじめは許さない」という姿勢を絶えず示す。
- ◎居心地のよい学級、自己存在感を実感できる学級となる常時指導、常時活動を重視する。
- ◎要支援群の児童に目を向けた支援策を検討する。(Q-U検査)
- ◎教師自らの言動を律して指導にあたる。

教育活動の充実によるいじめの未然防止

- ◎「分かる授業」の展開と個に応じた指導を充実させる。
- ◎道徳の時間の充実と指導内容の重点化を図る。
- ◎人権教育の充実と規範意識の徹底を図る
- 落ち着いた親和的な雰囲気の中で安心して生活できる集団づくりをする。
- 望ましい人間関係を構築するための体験、異年齢・地域との交流活動を推進する。
- 「心を育てる学校教育の日」における指導の工夫を図る。
- 小中一貫教育における交流活動を工夫する。

いじめ問題の早期発見・早期対応

- ◎いじめを訴える正しさ、学校は児童を守り通すという姿勢を示す。
- ◎教育相談等を充実させる。
- ◎いじめの実態把握アンケートやQ-U検査等を実施し、活用する。
- ◎加害児童、被害児童および双方の保護者、学級に対し、迅速かつ適切な指導をする。
- 生活ノート等により児童の心の動きを把握する。
- 児童サポート委員会や朝の打合せにより、情報の収集や共有を図る。

家庭や地域との連携

学校・家庭・地域が連携したいじめを許さない取組

- ◎保護者に対し、いじめの解決に向けた学校としての取り組む姿勢を見せる。
- ◎児童が地域の大人と接する場面を増やす。
- ◎地域見守りボランティアの方から情報を得る。

関係諸機関との連携

教育委員会・関係諸機関との連携強化によるいじめ防止

- ◎関係機関等との連携を図り、指導上必要な支援を積極的に受ける。
- 関係諸機関の特性を理解し、必要に応じて連携が図れるようにする。
- 外部の教育相談機関にいつでも相談できることを児童に周知する。